

## 大源太山・赤城山

山行日：2016.9.25～26 天候：一日目晴れ、二日目曇り時々小雨 単独 記：TH

コース：一日目 自宅/5:00－登山口/8:30－大源太山/11:45～12:25－登山口/14:40

二日目 大沼登山口/11:35－駒ヶ岳/12:30－黒檜山/13:25－駐車場/14:40－自宅/17:30



日曜日ということで既に20台程のマイカーで駐車場は満車、最初の渡渉点はロープが



あり飛び石で靴は濡れない程度  
2箇所目はジャンプして行く  
対岸で外人さんが道を譲ってくれたが  
随分ラフなスタイルであった



渡渉してホットしたのも、つかの間  
岩石交じりの急登の連続が待っていた

登山靴を袋に入れて玄関隅に置いていたのだが  
湯沢での同窓会ついでに山行であり、荷物が  
多かったため靴を持たないで車に乗り込む。  
登山口まで来てから靴がない、さて、どう



しょうか。先の  
外人さんはスニ  
カーだった。  
危険だったら  
引き返すことで  
いざ出発



ようやく視界が広がってきた  
目指すピークも



大源太山～七ツ小屋山～谷川連峰の稜線が

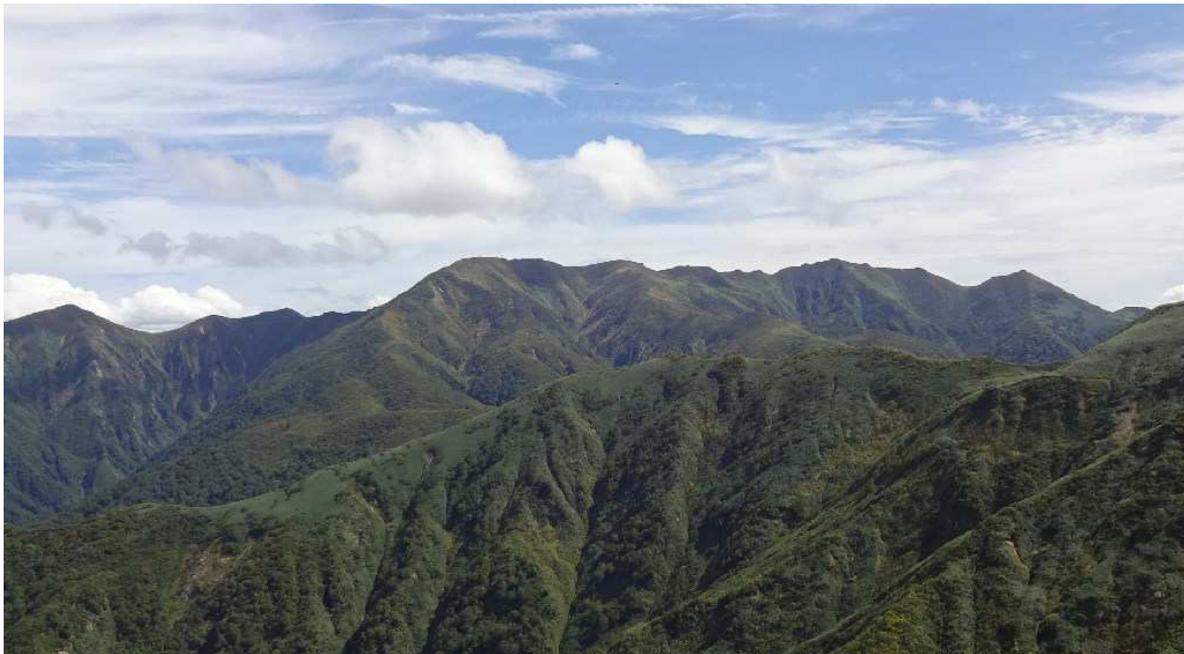




大源太山東面は切れ落ちたルート  
東洋のmatterhornとはこちら側  
蓬峠方向から見た山容をさす



中高年のグループが大源太登山口に向かって  
降りて行ったが渡渉で苦勞するだろう  
右鋭角の山は白毛門～朝日岳の稜線



谷川岳双耳峰はガスの中  
右ピークは万太郎山  
中央部凹みは、蓬峠



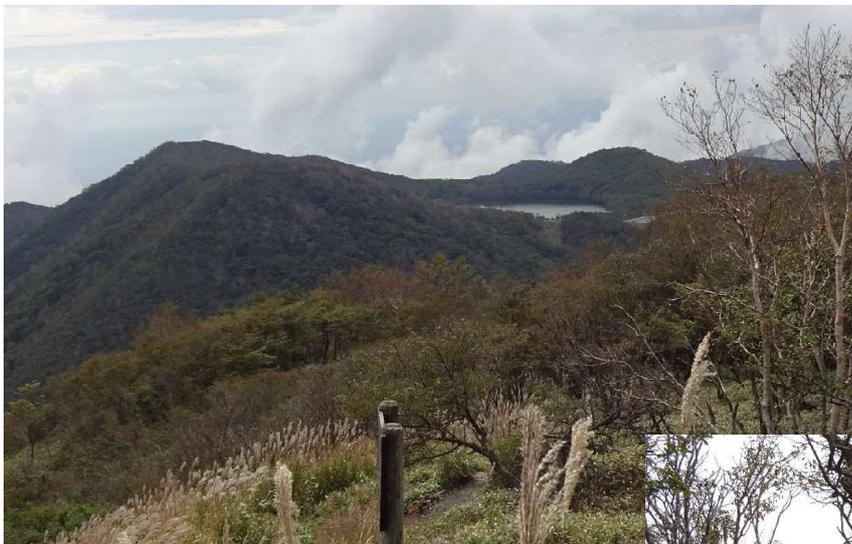
案の定、団体さんが渡渉で四苦八苦していた



## 2日目赤城山



登山道は良く整備された道がつづき  
階段を登ると尾根道に変わる



火口湖の小沼も見えている

殆どの人は私と逆ルートを歩いている  
今にも雨が降り出すような空気の中  
駒ヶ岳山頂、西尾根へはしっかりした  
踏み跡がつづいている





黒檜山への途中から  
ようやく大沼が見えてきた

東京に出てきたころ、この  
天然リンクの氷上で滑った  
ものだったが今は昔



緩やかにコルを過ぎての登り返し  
黒檜山は小雨交じりで展望なし



赤城神社が湖面に浮き神秘的で  
ある

